



『新年の』挨拶

萩市 佐々並支所長 山本秀美

佐々並地区の皆様、新年明けまして

おめでとございます。令和七年の新年を迎えます。健康のことお

喜び申し上げます。干支にもそれぞれ

の意味合いが込められており、昨年の辰年も一人ひとりの安心安全が確保さ

せていただくことが、公民館として

大切な仕事であると考えていますの

で、ご理解ご協力よろしくお願い

いたします。

これから始まります令和七年が、

佐々並地区にとって素晴らしい一年

となりますよう、また住民お一人お

ひとり健康で過ごされることを祈

念しまして、令和七年新春にあたり

ましてのごあいさついたします。

ますが、私たちがとても『防災の意

ればと思います。

昨年を振り返ってみますと、元旦に発

生した「熊谷半島地震」に始まり、各地

で大震災が多く発生した年であつた

ように思います。被災された方々には

心よりお見舞いを申し上げますと思

います。

力・情熱なので、覚えておいていただ

ただけるようお願い申し上げます。

年とは「正義感・信用」でしたが、今年

は「くひ」から想像されるどおり「生命

を大切に」を大切に、今年も一人ひと

の安全安心が確保されていくことを

目指してまいります。

おめでとございます。令和七年の新年

を迎えます。健康のことお

喜び申し上げます。干支にもそれぞれ

の意味合いが込められており、昨年の辰

年も一人ひとりの安心安全が確保され

入ったよー

今月の新刊(佐々並図書室情報)

「シーエソノ国物語」

著：多崎 礼

毛布にくるまって読みふけた

あの頃のあひだへ……

こんなアバンタジーを待っていた！

待望の第三弾が早くも登場

*** 喝采が流れた ***

「青嵐の旅人 下」

著：天童荒太

新しい世界でも、思うがままに飛んでゆけ

絶命の親潮。その命運は、二人のきょうだい

握っていた……

江戸幕府消滅。そして明治へ。

激動の時代を圧巻的なスケールで描く

感動の歴史長編

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今月のわくわく号

7日(火)・21日(火)

※ 活性化センター前 10：40～11：10

佐々並の今

(令和6年12月1日現在)

世帯数 259戸

男性 252人

女性 264人

合計 516人

(前月比 △2人)

65歳以上割合 58.9%

ぎょうじよてい

○1月10日(金) 午前10時～

人権相談 活性化センター

○1月12日(日)

萩市消防出初式

佐々並地区での放水は、午前11時

30分(予定)で行われます

○1月25日(土)

午前10時30分～12時

萩市議会報告会

会場：旭活性化センター

佐々並駅伝大会開催

と き：令和7年2月1日(土)

13時～ 開会式

コース：佐々並グラウンド外周

1周約1kmを5周します

ルール：1チーム1人～5人で編成

し、チームで5周すればOK

※今月号と一緒に配布します、募集

チラシをご覧ください。多数の

ご参加をお待ちしています。

確定申告受付についてのお知らせ

旭地域における令和6年分の所得税(市県民税)の申告受を、下記のとおり計画しています。例年に比べ、日数が短くなっておりますので、ご注意ください。

①明木会場(マルチメディアセンター)

2月25日(火)～28日(金)

②佐々並会場(活性化センター)

3月3日(月)～6日(木)

※受付時間はいずれも、

8：30～17：00です。

好物あれこれ



「お正月」と言えば、人それぞれあるでしょうが、ここでは『おせち料理』と答

えたいと思います。おせち料理には、そ

れぞれ「いわれ」というものがある、料

理や素材一つひとつに意味を持っている

のです。みなさんよくご存じかもしれま

せんが、復習を兼ねていくつかご紹介し

たいと思います。「ぶりはお世魚と呼ば

れるので、出世するように願う」「海老

は腰が曲がるまで長生きできるように」

「黒豆はまめに(勤勉に)働き、元気に暮

らせるように」「昆布巻は喜ぶ(よろこ

ぶ)」「れんこんは穴があいていて、将

来の見通しがきくように」などとされて

います。おとこのままじやあ、だのう

んちく野郎になってしましますぜ。そろ

そろつばきつばくならないで。

私の好きな料理は、少数派かもしれま

せんが、棒鱈(たら)を煮たやつなんて

す。昔からこれが大好きで、私の中では

正月しか食べられない、こちそうになつて

いるのです。しかし恥ずかしながら、鱈

が持つおめでたい意味を知ることなく食

べていたため、今回あわてて調べました。

「たらふく食べられる」から「一年間食

うです。ちよつとうれし恥ずかし……。一

年間の健康を願うのかもしれませんが、『私も鱈

が大好きなんよ!』と賛同いただける方、

公民館までお待ちしております。